

手術室用機器の洗浄及びメンテナンス履歴管理システムのサービス提供

Market ～市場環境～

～「春日野の鹿と諸寺の鐘」良好な音環境が存在する地 奈良～

静かで豊かな自然と悠久の歴史をもつまち、奈良。中でも奈良市は環境庁が実施した「残したい日本の音風景100選」にも選ばれた「春日野の鹿と諸寺の鐘」という良好な音環境が存在している。このような環境の中、クリエイティブな感性が磨かれ、現在の世に新たな歴史を紡いでいる。

Products

～取扱商品～

蓄積された技術とノウハウで常に新しい価値を創造していく 株式会社オカダ電子

当社は、制御ソフトウェア開発、業務ソフトウェア開発、制御機器設計・開発等をメインに行っている。

【洗浄履歴管理システム「ウォシュレコ」】

内視鏡検査で使用するカメラの洗浄履歴管理を、タブレット端末で簡単にしかも低コストで導入できるシステム「ウォシュレコ」



【電子カルテ「ABCarte(エー・ビー・カルテ)」】

タブレット端末を利用した電子カルテシステム「ABCarte」



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【手術室用機器洗浄・メンテナンス履歴管理システムへの着目】

手術室で使用する機器は多種多様で、機器ごとにICタグなどを付けて履歴を管理する従来のシステムでは、対応する読取機なども必要となり最終的にコストが上がり、導入が難しいことに着目した。

【既存システム高評価による新たな需要の発生】

当社が2011年より販売している内視鏡カメラ洗浄履歴管理システムの高評価により、低コストで手術室用機器の洗浄や、メンテナンス履歴を管理することができるシステムが要望されるようになった。

【既存システム横展開による開発の簡易化・既存販売ルートを活用】

システム開発は、既存システム「ウォシュレコ」の機能・しくみを活用・横展開できる部分も多数あると考えられ、また、販売ルートも「ウォシュレコ」で開拓した、代理店ルートを活用できることから、市場環境、需要等も勘案し本事業のシステム開発に着手した。

他社既存品 手術用機器洗浄・メンテナンス履歴管理システムの問題点

価格が高く、導入できない

低コスト管理システムのノウハウ

既存システム「ウォシュレコ」の機能・しくみの横展開による開発の簡易化

既存システム「ウォシュレコ」の販売ルート網の活用

低コスト手術室用機器の洗浄・メンテナンス履歴管理システムの開発へ

株式会社 オカダ電子

■設立 平成9年4月15日

■事業内容 制御ソフトウェア開発・業務ソフトウェア開発等

■本社所在地 奈良県奈良市歌姫町10番地

■URL <http://www.okada.co.jp/>

■資本金 1,000万円

■従業員数 10名

■TEL 0742-30-3333

■E-MAIL okaden@okada.co.jp



■代表者 代表取締役 岡田 洋介

当社は、お客様のご要望にお応えするために、FA分野における自動制御システム、監視システム、管理システムの設計・製作をはじめ、公共インフラ、医療分野、デジタルサイネージ等、さまざまな分野でのアプリケーションの開発、システム構築、ハードウェア設計製作を行っております。また、次世代の最新技術にも果敢に挑戦し、蓄積された技術とノウハウで常に新しい価値を創造していきます。

Contents

～事業の概要・成果～

- タブレットPCシステム構築による、導入・運用コストの削減を実現
- 手術室用機器の滅菌消毒の履歴やメンテナンス管理を、安価でかつ間違いなく管理できるシステム構築が可能になった

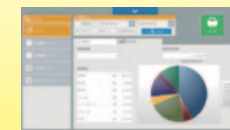
タブレットPCでの単独運用ができる仕組みを構築。医療施設のネットワークと分離することにより、大掛かりな設置工事をなくし導入・運用コストの削減が可能になった。

低コスト化

- タブレットPCを使用したシステムを構築
- 複数の機器を使用しない為、大掛かりな設置工事を排除
- 導入コストを抑えることが可能になった

使いやすさの追求

- 直感的に使いやすいシンプルなインターフェイス
- 患者情報はIDのみで管理
- グラフ等を用いた分析ツール



低コスト化に加え、使いやすさの追求により、当該システムの採用率をあげる仕組みを構築した。

Task

～事業化における課題～

課題 システムと市場ニーズとのギャップ

手術室用機器は内視鏡機器に比べると多種多様であり、かつ履歴管理するにも工程が多い為、従来の内視鏡洗浄管理システムを活用する当該システムでは、需要を完全に満たすことが困難であることが顕在化。市場ニーズと当該システムとのギャップの充足が急務。



Solution

～解決への道筋～

施策 協力病院との連携によるシステム改良

協力病院において、当該システムの試験運用を行うと共に課題・改善点等を抽出する環境作りを実施。ニーズを深掘りし、システム改良も視野に市場ニーズの充足をはかる。



Future

～今後の事業スケジュール～

【手術室用機器の洗浄及びメンテナンス履歴管理システムの全体売上】

- 事業終了後より、市場調査及び営業活動を積極的に展開し、2年目後半より売上を確保。5年後には、一般病院市場の全国拡大を目指す。
- 売上目標：今後5年間で400%を目標。



株式会社 オカダ電子